



春の全国 火災予防運動

乾燥しやすい季節
正しい防火対策の推進を

家の外周りは整理整頓し、段ボールなどの燃えやすい物を置かない▽外灯をつけるなどして明るくする▽車庫、物置などに鍵を掛ける▽車やバイクは路上に駐車せず、カバーは防炎性の物を使用する▽ゴミは収集日の朝に出す

放火・火災に注意

寝たばこをしない▽ストーブは燃えやすいものから離す▽ガスコンロから離れるときは必ず火を消す▽タコ足配線をしていない▽住宅用火災警報器を設置する

住宅防火の対策を

「もういいかい 火を消すまでは まあだだよ」をスローガンに、3月1日(日)から7日(土)まで、全国一斉に春の全国火災予防運動が展開されます。

期間中、消防本部では各種事業所の査察、広報車による巡回、その他の火災予防行事を行います。



多田トラ市を開催します！

3月15日、多田駅前が楽しい市場に大変身

新鮮野菜の販売やフリーマーケットなど多田地区の活性化をめざして、多田商業会が3月15日(日)午前10時～午後3時、能勢電鉄「多田」駅前で、「多田トラ市」を開催します。軽トラックを使った出店ブースでは、商業会による野菜の即売や模擬店、一般参加者による手芸・リサイクル品などのフリーマーケットを行います。

多田中学校吹奏楽部や、太鼓集団「疾風」の演奏なども実施。詳しくは多田商業会 ☎(790) 0555へ。

昨年の火災・救急・救助件数はこれだけありました

【「たばこ」による火災がトップ】

26年中に発生した火災件数と前年との比較は下表の通りです。

出火原因は「たばこ」による火災が8件とトップで、次いで「放火・放火の疑い」が6件、「配線器具」、「灯火」が3件と続いています。

建物の焼損床面積は、前年より172平方メートル増し391平方メートルです。

損害額は4,314万3,000円増加して8,596万7,000円で、火災1件あたり277万3,000円、1日当たり23万6,000円の損害となっています。

また、火災による死者は1人、負傷者は7人で、



19世帯53人が災っています。

【救急出場件数は昨年より73件増】

26年中の救急出場件数は7,505件（前年比73件増）です。1日あたり20.6件救急出場で、6,674人を搬送しています。搬送した傷病者のうち65歳以上の高齢者は、前年より189人増加の4,160人で全体の62.3%を占めています。

【救助出場は昨年に比べ9件の減少】

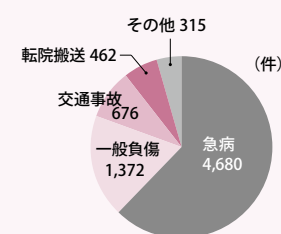
26年中の救助出場は、92件（前年比9件減）、救助人員は49人（前年比4人増）となっています。

内訳は「建物などによる事故」が32件、「交通事故」が17件、「風水害など自然災害」が5件、「機械による事故」が3件、「建物火災」が2件、「ガスおよび酸欠事故」が1件、「その他の事故」が32件となっています。

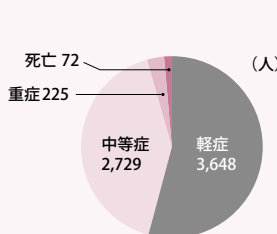
26年の火災発生件数と25年との比較

火災種別	26年	25年	増減
建物	18件	22件	△4
林野	0件	2件	△2
車両	1件	4件	△3
その他	12件	14件	△2
合計	31件	42件	△11

救急出場件数の内訳



傷病程度別搬送状況



4月19日の源氏まつり当日に 壮麗な源氏武者や姫役と乗車しませんか

源氏まつり特別「イベント列車」を運行します

4月19日(日)開催の源氏まつりに合わせ、当日午前11時ごろに阪急・能勢電鉄「川西能勢口」駅を出発し、能勢電鉄「日生中央」駅で折り返して「多田」駅まで運行する「イベント列車」の乗車希望者を募集します。

運行は1便（4両編成）のみで運賃は無料。定員は250人。源氏武者や姫役たちが乗車し、源氏まつりのPRなどを行います。

希望者は、往復ハガキ（1枚で4人まで）にイベント名(イベント列車申し込み)、代表者の住所・電話番号(自宅・携帯共)、全員の氏名(フリガナ)、年齢を書き、3月20日(金)(消印有効)までに〒666-8501・文化・観光・スポーツ課(市観光協会

事務局)へ。定員超過の場合は抽選。詳しくは同課 ☎(740) 1161へ。

